

凍結防止ソケット 取扱施工説明書

安全のため必ずお守りください。また、この取扱施工説明書は大切に保管してください。

品 番

782-701-13

⚠ 警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

⚠ 注意

取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、および物的損傷のみの発生が想定される場合

⚠ 警告

- 排水には十分ご注意ください。
凍結を防止する機能が働いて流れ出した水が地面で凍結し、すべてケガをする恐れがあります。

⚠ 注意

- 本品の下には十分な空間を確保してください。
- 何か異常を感じた場合は、販売店または当社にお問い合わせください。
- 分解・改造をしないでください。故障や事故の原因となります。

故障ではありません

<本品排水部から水が止まらない>

- 凍結防止のため一度開いた弁は、感知部の水温が5.0℃以上上がらない場合は止水しないことがあります。ゴム弁部にゴミが噛んでいる、もしくはゴム弁部破損の場合、水が止まらなくなることがあります。その際は、販売店または当社にお問い合わせください。
- 上記作業をする場合は、必ず元栓を閉めてください。

<本品より先端側の水が凍結している>

- 本品は凍結による器具の破損を防止する製品であり、流路内の凍結を完全に防止するものではありません。

構造・作動

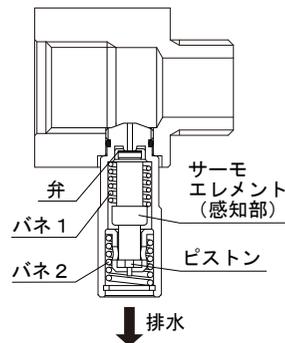
<作動原理>

止水の状態周囲温度が下がると、サーモエレメントが温度を感知してピストンが収縮し、バネ1によりサーモエレメントに接続された弁が下がり開弁します。水が排出され流動する水の温度が上昇すると、ピストンが伸びバネ2により弁が押付けられ閉弁します。

<仕様>

- 使用温度範囲 -15℃～60℃
- 開 弁 温 度 2.5±2℃
- 閉 弁 温 度 5.0℃以上
- 作 動 時 流 量 雰囲気温度 0℃、流体温度 0℃、給水圧力 0.05MPaの場合約300ml/分
- 使用圧力範囲 0.04～0.75MPa

<図1 外観図および構造図>



施工される方へ

施工後、お客様にこの取扱施工説明書をお渡しください。

⚠ 注意

- 本品を取付けの際は、必ず元栓を開けて作業をしてください。
- 本品は給水用にご使用ください。(給湯用にはご使用できません。故障の原因となります。)

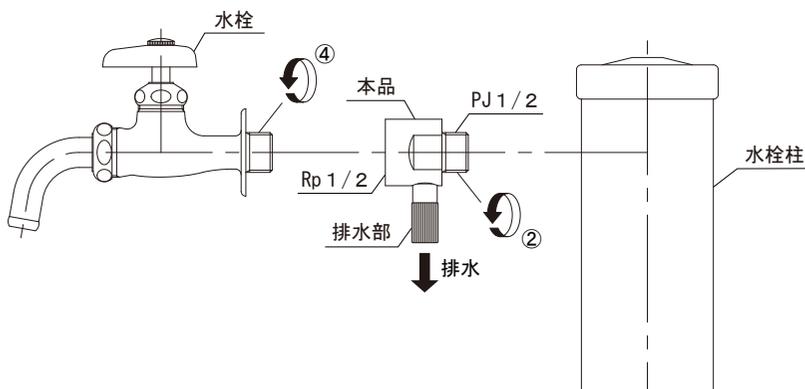
取付上の注意

- ご使用の水道が
 - ①給水圧力0.04～0.75MPa
 - ②水道本管の水温(水栓を開けて1～2分後の水温)が5.0℃以上あること。
- 外気温度が-15℃以上であること。
- 本品の周囲温度が0.5℃以下になるよりも先に、配管部の温度がマイナスになるような場所ではご使用できません。凍結を防止する機能が働かないうちに、配管部が凍結する場合があります。

施工例

- ①元栓を閉めます。
- ②本品のPJ1/2ネジ部全体にシールテープを軽く引っ張りながら、7～8回矢印の方向に巻付けます。
- ③水栓と水栓柱の間に本品を「レンチ」などでしっかりと締付けます。
 - * 本品を水栓柱に無理にねじ込まないでください。破損する恐れがあります。
 - * 本品の排水部に無理な力を与えないでください。水もれの恐れがあります。
 - * 排水した水が流れ落ちるように、本品の排水部を下向きに取付けてください。
- ④水栓のネジ部全体にシールテープを軽く引っ張りながら、7～8回矢印の方向に巻付けます。
- ⑤本品に水栓を取付けます。
- ⑥元栓を開けます。
 - * 水もれが発見された場合は、作業をやり直してください。

<図2>



 株式会社 **カクダイ**

本 社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124